

農業



平成25年2月号

会誌 No. 1569

目次

巻頭言

穴塚の自然と歴史の会……………進士五十八 3

論 壇

何が費用で便益か……………生源寺真一 4

農芸委員会

今後のバイオマス利用の促進に関する提言

……………農芸委員会バイオマスエネルギーチーム 6

農業懇話会

我が国農業を取り巻く国際情勢……………山田 修路 9

－農林水産審議官の3年2カ月－

WTO ドーハ・ラウンド交渉

EPA・RCEP 交渉

TPP 協議

質疑応答…………… 22

農業技術開発研究会

岐路に立つ現場対応試験研究（Ⅱ）

－現場対応試験研究への提言と意見交換－ …… 26

話題提供 ……長野間 宏 26

現場対応試験研究とは

FSR/E：NOMAN 氏の提案したプロセス

検証

秋田農試のネギプロの例 大潟村での参加型試験・研究 これからの現場対応試験のために 独法と公立農試の関係の提案 意見交換	36
--	----

農業・農村の現場から

(株) じょうえつ東京農大の取組.....藤本 彰三	49
- 有機農業による中山間地振興 -	

世界の農業は今

FTA を推進する韓国における農業政策	樋口 倫生 55
---------------------------	----------

東京農業大学収穫祭から (Ⅲ)

沙漠緑化の最前線	生産環境工学科地水工学研究室 59
----------------	-------------------

統計情報

平成24年耕地面積	64
-----------------	----

農政情報

大日本農会だより	66
----------------	----

表紙写真説明

孫は楽し (福島県南会津郡^{しもごうまち}下郷町大内宿)

下郷町は、福島県南会津郡にある。県の南西部にある南会津郡は、本州で最も面積の大きく、下郷町のほか、桧枝岐村、只見町、南会津町がある。町の人口は、昭和60年(1985年)の国勢調査で1万人を切り、平成24年(2012年)12月現在の推計人口は、6,217人となっている。山間部、棚田主体のコメの産地であったが、農業の衰退は著しく、観光が中心に発展している。大内宿(国重要伝統的建造物群保存地域)、塔のへつり(国指定天然記念物)など、全国クラスの観光資源を有している。特産品として「会津地鶏」がある。

農業と観光を結び付けて地域振興を図るため平成22年度から滞在型市民農園、「クラインガルテン下郷」をはじめた。昭和25年の募集は5区画を予定している。

写真は、大内宿の豪雪時の暮らしを撮影したものであり、町の全域が特別豪雪地帯に指定されている。

写真提供：第7回「私の好きな日本の農村」フォトコンテスト
(社)農村環境整備センター主催 入選 「孫は楽し」 須田福次氏